

# ●ミニフォト

## みんな体を動かそう



卓球を楽しむ

市民総合スポーツ祭が10月14日、市スポーツセンターきびじアリーナを中心に開催されました。700人を超える市民が、グラウンドゴルフや卓球、太極拳など15種目に参加。秋晴れの日に心地よい汗を流していました。

## お父さんのお手並みは



ご主人の腕前に感心

総社男性料理クラブの家族招待発表会が10月11日、市保健センターで行われました。会員21人が普段の実習成果を披露するため、腕によりをかけて調理。招待された家族は、愛情が込められた料理を味わっていました。

## 幻の総社銘菓よみがえる



養老糖を試食

9月21日、カミガツジプラザで備中マルシェ2019in 総社が開催されました。備中地域の農産物やパン、スイーツなど約40店舗が出店。「養老糖」の試食会も行われ、訪れた人は幻の総社銘菓を味わっていました。

## 昭和ヘタタイムスリップ



商店街筋で総踊り

9月28日と29日、「宮筋ものごとり〜第四章〜」が開催されました。総社宮ではダンスや吹奏楽、国司着任式が行われ、総社商店街筋は多くの出店や総踊りでにぎわいました。訪れた人は、古き良き昭和の時代を思い返していました。

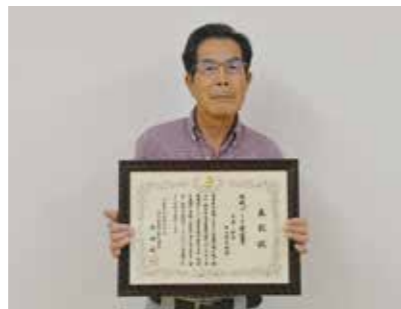
## ちびっこアーティスト



力作がずらり

こども造形ひろば受講生の作品展が9月14日と15日、市図書館で開催されました。展示されたのは、小学2・3年生30人が講座で作った自画像や額縁など約230点。いずれも劣らぬ力作に、訪れた人は見入っていました。

## 訓練の成果を評価



表彰状を手にする小西本部長

9月30日、下原・砂古自主防災組織が備中県民局地域づくり推進賞を受賞しました。毎年地域で避難訓練を重ねた結果、西日本豪雨の際住民一丸となって避難。犠牲者を出さなかったことが評価されました。

## 日本の文化に触れる



ミニ畳作りを体験

10月6日、昭和中学校の姉妹校であるオーストラリアのメルトン・セカンダリーカレッジから生徒8人が来総。13日までホームステイをしながら、座禅体験や巻きずし調理、ミニ畳作りなどをして日本の生活や文化を学びました。

## 多文化共生社会を目指して



国境を越えてダンス

国際交流イベント「インターナショナルフェスタ」が10月12日、カミガツジプラザで行われました。訪れた人は、サンバのステージや多国籍料理の屋台、餅投げなどで、さまざまな国の文化に触れていました。

## 消火・救命への挑戦



協力して心肺蘇生

防火意識の高揚を目的に、ファイヤー・セービング大会が10月2日、市消防本部で行われました。市内の事業所から男女計30チームが出場。消火技術や心肺蘇生、AEDを使用した救命技術を互いに競い合っていました。



3



1



6



5



4



2

①ライトアップされた五重塔を背にコンサートを楽しむ観客 ②高校生から感謝の花束が贈られる ③さだまさしさんの曲に合わせて会場全体が盛り上がる ④相川七瀬さん ⑤さだまさしさん ⑥永井真理子さん

## 歌声で赤米文化をつなぐ

### 赤米フェスタ2019コンサート

9月15日、赤米フェスタ2019コンサートが備中国分寺南の広場で開催。コンサートに合わせて、備中国分寺五重塔と赤米のほ場がライトアップされました。

総社赤米大使を務める歌手の相川七瀬さんをはじめ、さだまさしさん、永井真理子さん、男性デュオ・アンティークノーツが出演。フィナーレでは、さだまさしさんが開設に協力した学習支援ルームの運営などに携わった高校生が、出演者に花束を手渡しました。

過去最高の約2000人が来場。幻想的な雰囲気の中、会場一体となって盛り上がっていました。



## 一流のオーケストラを鑑賞



共演曲では児童も演奏に参加

10月4日、文化庁が行う「文化芸術による子供育成事業」の一環として関西フィルハーモニー管弦楽団が阿曾小学校で演奏会を行いました。会には児童や地域住民ら約300人が参加。本格的なオーケストラの音色に耳を傾けていました。

## 折り鶴に交通安全を願って



ドライバーに折り鶴を渡す

9月24日、秋の交通安全県民運動期間の恒例行事である交通安全折鶴作戦が行われました。総社高校の家庭クラブ員ら約90人が参加。交通安全の願いを込めた折り鶴をドライバーに配布し、安全運転を呼び掛けました。

## さくらランドに笑顔が戻る



朝のひとときに塗り絵を楽しむ

西日本豪雨の影響で休止していたデイサービスセンターさくらランドが、9月20日から事業を再開しました。同施設は社会福祉法人梁善会が運営。再開初日、デイサービス利用者は穏やかな1日を過ごしていました。